

再発見！何でもみてやろう 篠山城下町訪問

2022年11月26日（土） 池上憲治

再発見！1班の11月の行事は篠山城下町訪問で、火曜コースが15日（火）で、木曜コースが24日（木）でした。丹波篠山市と言えば「丹波黒枝豆」が特産品として有名です。丹波黒枝豆の収穫時期は10月頃から約2週間ととても短いです。その丹波黒枝豆を収穫せずにそのまま置いておくことで、丹波黒大豆になります。下見は10月13日（木）に行いましたが、その時は黒枝豆の最盛期で、沢山の買い物客で、篠山城近くの商店街はどの店も大変賑わっていました。季節が11月になると、15日も24日も静かな城下町と変身していました。

篠山城下町散策は篠山城大書院、近隣の武家屋敷にある安間家史料館・デカンショ館のある青山歴史村、そして少し離れたところにある旧篠山裁判所を改造した歴史美術館の4つの施設共通の入館券を購入して実施し、特に大書院、安間家史料館は地元ガイドの方に依頼して案内してもらい、昼食後の歴史美術館についても館内のガイドの方に案内してもらう事が出来、城下町についての知識を充実したものとする事が出来、大変好評でした。

篠山城下町では、買い物も楽しみの一つでした、大正ロマン館と特産館ささやまでは、レストランと共に土産物店もあり、名産の黒大豆を加工した土産物が時に人気があり、沢山の人が購入していました。又、篠山城下町には、ぼたん鍋の店もあり、その出汁を使った手頃なうどん鍋も美味しく賞味する事が出来ました。更に商店街の一面に、「鳳鳴酒造ほろよい城下蔵」という酒蔵があり、酒蔵見学と試飲そして多くの種類の日本酒があり、その中から好みの物を購入できる事も皆の満足を得る事が出来ました。

篠山城下町は極めてコンパクトな範囲内で色々な楽しみがあり、特に黒大豆やぼたん鍋は誰にとっても好まれる名産品だと思われま



